

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	桃ノ木原地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
宮崎県	450006	1	H20～	H20
宮崎市	452017		H22	
活性化計画の区域				
宮崎県 宮崎市 桃ノ木原地区				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率 (%) B/A	備考
定住等の促進に資する基盤整備の円滑化	2年	0年	0%	

(コメント)

早期事業採択に向け、平成26年6月に事業推進委員会（構成員18名）を立ち上げ、地元説明会及び推進委員会を開催したことで、区画整理の実施による農地集約化の有効性が広く認知されたが、事業採択に向け仮同意を徴収する際に、事業反対者（現状に満足しているため事業化を不要とする地権者や、過去の地権者間のトラブルを理由に事業化に反対する地権者等）の合意形成に至らなかったため、改善計画目標である平成27年度までの目標を達成することが出来なかった。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農用地等集団化	経営体育成促進換地等調整事業 20.1ha		宮崎市
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
—	平成20年度	平成20年度	—
事業の効果			
本事業の実施により、地元説明会及び推進委員会を開催したことで、区画整理の実施による農地集約化の有効性が広く認知され、地域の将来や今後の営農環境に関する地区内の関係者の意識や関心を向上させることができた。			

3 総合評価

(コメント)

現在、重点地区として事業推進委員会の実施等による推進を行っており、地域における事業化に向けた機運も徐々に高まってきている。

引き続き事業計画の検討と地元推進体制の強化に取り組み、事業採択に向けた取り組みを行う。

※活動実績（平成26年度～）

- ・ 地元説明会 平成27年2月27日（参加者17名）
- ・ 事業推進委員会 平成26年7月29日（参加者11名）
平成26年9月20日（参加者12名）
平成26年10月16日（参加者14名）
平成26年11月20日（参加者12名）
平成26年12月18日（参加者12名）
平成27年1月28日（参加者8名）
平成27年3月18日（参加者8名）
平成27年5月28日（参加者13名）
平成27年8月20日（参加者10名）
平成27年12月17日（参加者9名）
- ・ 仮同意書徴収率 約93%（全地権者69名中64名）

4 第三者の意見

(コメント)

当該地域は、安定した用水の確保ができず、区画整理ができていない区域もある。当該地域は国営事業の受益地域であり、安定した水源を効率よく利用し、生産性をあげるためにも基盤整備の実施は喫緊の課題となっている。

早期事業採択に向け、事業推進委員会が平成26年6月に設置され、精力的に説明会や推進委員会を開催したことで地元での事業に対する仮同意書徴収率は約93%まであがった。この点は、本事業によって営農環境改善に関する地区内関係者の意識向上につながったためと評価できる。しかし、依然として事業反対者が存在し、合意形成に至らず目標を達成できない状況である。今後は、早期の事業採択に向けた措置が期待される。

(九州大学大学院農学研究院 教授 福田 晋)